帰郷者ヲ同人ノ救護、就職、預金ニ偏セル欠ニ依ル
郷土ノ鉱業従業者中高尾鉱工所主土岐市左衛門補佐
工所主山田嘉兵衛等ト同様ニ率先シテ活動中ノ處来ル旧会
以来ノ川崎造船所ハ従来ニ於ケル居ラサル殊ニ投上場ノ下請負人
等ノ団結思想ヲ共ニ為サシメ得テ上記団結方崩壊ニ至ル状ハ
従業者全部ハ其業ヲ為スノ其ノ殊ニ練達ナル技術ヲ安ナル低能
者ノ使用ニ依ル利益等ヲトナシ之カ救済ノ必要トロストト主張
之ニ従ヒ労務者ニ於テ救済運動ヲ為サシメ尚ホ之ニ同
所ノ下請負人ヲ通シ直接間接思想ニ訴ヘテ十ノ三ナリ件ニ
高尾ノ補佐ノ両鉱工所ノ如キハ未タ何等ニ陳情ヲ行ヒ之ヲ
携ヘ更ニ居ルノ此ノ際困窮シ居レル何レカ救済方法ヲ講
スルノ上之ヲ政府ニ要請シ向ツテ陳情ヲ為ス決意カナリ模様ニ見
受ケラレタルヲ以テ今後ハ当業者ノ材料提供ト未掛込株金ノ

財團法人協調會

掛込ヲ促シ救済ノ方策ヲ為サシム
(2)、職員同盟郷土労働組合川崎分会ハ
十一日午後七時ヨリ岩井作太郎、梅井義夫、宮崎憲雄（又
郷土労働組合ト共ニ大西光盛（二名）（又上川崎作業工）等ハ市内梅
ノ宮町二ノ目郷土労働組合事務所ニ於テ会合シ左記事項ヲ
協定シタリ。

記

一、左記ノ如ク二決議シ
岩井作太郎ヨリ
(1)、解雇従業者ニ対シ　(2)、重役ニ対シ材料提供セヨ
(3)、未掛株金ノ掛込メ、(4)、従業者ニ猶予セヨ
(5)、従業員ハ材料ニ本事ヲ為スニ付キ
十ノスルカシテ役所ニ出ノ会ハ市当局ニ於テ何等ノ

財團法人協調會